

2021年6月25日

～脱炭素社会の実現に向けて～

中堅・中小企業向け脱炭素経営支援の開始について

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）は、中堅・中小企業向けの脱炭素経営支援を開始します。

中堅・中小企業が脱炭素経営に取り組む意義やその進め方に関するアドバイス、CO2排出量把握、削減目標設定等の支援を行います。

三井住友海上は、今後も脱炭素社会への移行に貢献する商品・サービスの開発等を通じ、社会の持続可能な発展を支援し続けていきます。

1. 背景

2020年10月の内閣総理大臣による2050年カーボンニュートラル宣言以降、脱炭素社会の実現に向けた動きが加速しています。

こうした流れを受けて、環境への意識の高い大手企業を中心に、取引先の中堅・中小企業等に対しても、CO2排出量の削減等を求め、サプライチェーン全体での脱炭素を進める傾向が強まっています。

中堅・中小企業にとって、脱炭素化の動きにいち早く対応することは、地球環境への貢献に加え、取引企業との関係強化、競争力強化等につながることで期待され、企業成長の「攻めの一手」となります。当社は、こうした中堅・中小企業への経営支援が企業の持続的成長、ひいては地域経済の活性化、脱炭素社会の実現につながるものと考えました。

2. 支援内容

「三井住友海上経営サポートセンター※1」、「株式会社ウェストボックス※2」の連携体制のもと、中堅・中小企業の脱炭素経営をワンストップで支援（株式会社ウェストボックスの支援は有償）します。

※1 中堅・中小企業等の経営課題の解決を支援する当社内の組織です。保険業界では、初めて中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」として認定されています（2013年6月認定）。

※2 CO2排出量把握のプロフェッショナル企業。環境省の「中小企業向けSBT・再エネ100%目標設定支援事業」を担当した実績のほか、業界を代表する大企業、多くの中堅・中小企業に対するコンサルティング実績があります。

<支援内容と体制>

取組プロセス	支援内容	体制
脱炭素経営の理解	脱炭素経営の進め方のアドバイス SBT※3の内容・取得メリットの説明等 上記に関する個別アドバイス・セミナー講演	MS&AD 三井住友海上 (経営サポートセンター)
実行	CO2排出量の算定支援※4 目標設定・削減活動支援※4 SBTの認定取得支援	WasteBox

※3 「Science Based Targets」の略称。

パリ協定が求める水準と整合した、温室効果ガス削減目標を設定する企業を認定する国際イニシアティブです。

※4 「GHGプロトコル」と呼ばれる、国際的に推奨されている基準に基づいて排出量を算定します。

なお、本件とは別に、当社グループ会社の「MS&ADインターリスク総研株式会社」からも概算排出量の算定等、実行プロセスを支援するサービスを提供予定です。

以上